

「中学部活動地域移行について考える」シンポジウム実施要領

1. 目的

本年6月にスポーツ庁が公表した「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」を受け、全国各地においてこれからの中学校部活動について様々な検討が始まっています。

彩の国SCネットワークでは、これまで2020年・2021年と部活動との連携している先進事例についての勉強会を続けてきました。私たちにとっても、中学生のスポーツ環境が、今後どのようになっていくのかは大きな関心事です。

今年度は、中学生のスポーツに関わる様々な立場の方々からご意見を伺い、一緒にこれからの中学生のスポーツについて考える機会を持つこととしました。

2. 実施概要

- (1) 日時 2023年1月8日(日) 13時半～17時
- (2) 場所 浦和コミュニティセンター 13集会室(浦和駅東口駅前 コムナーレ10階)
- (3) 定員 会場 90名 オンライン 100名
定員を超えた場合には抽選となります。
12/31までに参加希望登録をお願いします。登録はこちらから
1/3までに抽選結果と参加方法をメールで連絡します

(4) プログラム

- 13時15分 受付開始(オンライン開設)
- 13時30分 開会・主旨説明
- 13時45分 話題提供
 - ①「中学生のトレーニングのあり方」
早稲田大学スポーツ科学学術院 広瀬統一教授
 - ②「スポーツ庁 地域運動部活動委託事業について」
白岡市 教育委員会 石島隆志指導主事
- 14時45分 休憩
- 15時 パネルディスカッション
「中学生のスポーツと持続可能で多様な地域スポーツ環境」
早稲田大学 広瀬統一教授
白岡市 石島隆志指導主事
さいたま市立植竹中学校 山下誠二校長
埼玉県スポーツ協会 久保正美専務理事
彩の国SCネットワーク 田口嘉章代表理事
- 16時30分 閉会



4. 主催

(一社) 彩の国SCネットワーク

HP : <http://sainokuni-sc.net/>

mail : info@sainokuni-sc.net

5. 後援

埼玉県、埼玉県教育委員会、（公財）埼玉県スポーツ協会
さいたま市

6. 講師紹介

■早稲田大学スポーツ科学学術院 広瀬統一教授

- ・ 早稲田大学人間科学部スポーツ科学卒
- ・ 東京大学大学院総合文化研究科 修了
- ・ アスレティックトレーニング研究室
- ・ スポーツ外傷・障害予防とコンディショニングをテーマに、若年層から成人まで幅広い年齢層を対象に研究を行っている。
- ・ 2008年～2021年 サッカー女子日本代表 フィジカルコーチ
- ・ 2019年・2020年 さいたま市立本太中学校において複数の運動部員に指導



■白岡市

- ・ 令和3年度～4年度 スポーツ庁地域部活動推進事業受託
- ・ 白岡市内4中学校（部活動数50）において地域移行の試行事業を実施
- ・ 令和3年度には生徒、保護者、教職員にアンケートを実施
- ・ 地域部活動の管理・運営を担う団体に、市から委託し、委託先団体が指導者に謝金を支払う
- ・ 指導者は委託先団体に所属する